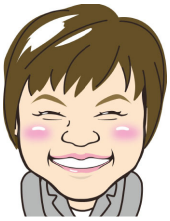

令和元年８月１日

らいかい恵子　議員便り 209 号

合志市議会議員　来海恵子　合志市幾久富1642－38　☎ 090-9655-1143

夏休みのラジオ体操は、子どもたちが規則正しい生活を送ることで2学期にスムーズに移行できる効果があります。ラジオ体操に、親子で参加されませんか？来海は、毎月一人で議員だよりを8,000枚配っています。

【令和元年6月議会一般質問から抜粋】

小学校標準服導入

一般質問答弁を実行したのか？

来海：小学校の標準服について、平成27年6月議会で一般質問しました。旧合志町の3小学校の話し合いやアンケートなど、その後の経過はどうなったのか？

教育部長：27年以降の答弁後、教育委員会がPTA等に対して何らかの話をした記録がないので、投げかけ等行ってはいなかったと思います。

来海：3小学校に対して投げかけてなかった。議場で一般質問は、神聖なもので遊びではありません。問題提起されたなら、毎月の校長会や教育委員会などで、できる・できないは別、真摯に受け止めて検討をしていただきたいと切に望みます。

旧合志町の３小学校に段階的に標準服導入へ

来海：卒業式が、ここ数年ちょっと派手になってきている気がしています。また、友達から「もっとおしゃれしたら」と言われて泣いて帰ってきたというような声も聞きます。保護者の方々から、「制服にしてください」という声もたくさんあります。全部一緒ではなく、まずは1年生とか2年生からにして、段階的に上級生は希望者のみ標準服にして、4・5年計画で標準服にする。合併して年月が経ったので、統一されてはいかがかと思うのですが。

教育部長：小学校の服装は、合併後、西合志第一小学校が変わりましたが、それ以外の小学校については、合併前の運用をそのまま引き継いでいるところです。標準服、自由服ともに一長一短あり、保護者の価値観もありまして、標準服派、自由服派に意見が分かれています。教育委員会としましては、自由服の学校に標準服を導入する具体的な考えは現在ございませんが、各中学校区に学校運営協議会を設置して、地域社会全体で子どもたちを育む体制づくりを取っています。協議会の中には中学校校区内の小学校関係者も委員として入られていて、小学校間同士の連携も取りやすくなっています。服装についてもこの中で議論していただくよう話をしてみたいと思っております。

来海：確認です。してみたいということは、するということですか。それとも先ほどみたいに一年後に一般質問したら、何もしてませんということですか。

教育長：このことについては重大な課題として校長たちも認識しておりますし、地域の保護者、それから関係する皆さんとしっかり、毎年議論を重ねていくというふうに進めていきたいと。学校運営評議会の大事な協議の内容として位置づけようと思います。

新設校の制服は？

合志楓(かえで)の森小中学校イメージ図

来海：2021年4月に、合志楓の森小学校と中学校が開校されます。小学校の場合は西合志東小は標準服、合志南小は自由服です。制服について検討されているのかを伺います。

教育部長：新設校の開校準備につきましては、昨年度に設置しました学校・地域・PTAで組織する新設校開校準備委員会で検討しており、小学生の服装も検討内容の一つです。合志南小と西合志東小の中の新設校校区の保護者を対象に意向調査を行い、その結果を参考に来年度初めまでには委員会としての結論を出す予定です。並行しまして新設する中学校区に学校運営協議会を立ち上げ、最終的にはそこで協議を検討します。

来海：学校協議会の中で検討されるときに、標準服を希望している方にはPTA総会に仕事で出られない方のほうが多いんです。保護者の意向とか協議会の中で、出られる時間的に余裕のある人だけではなく、そういう方々の声も検討をしていただきたいと切に願います。

緊急連絡先カード

来海：中島教育長が合志中校長の時に、各小中学校・警察署・駐在所・教育委員会の電話番号などを載せた紙を全家庭に配付しました。子どもたちを捕まえようとかでなく、未然に防ぐためです。熊本北合志警察署になり、交番名も変わりました。広報こうしの裏面に点線をして切り取ると、広報こうしの予算内で収まりますので、やっていただきたいのですが。

教育部長：警察署の管轄や電話番号は変わっていますので、ご提案のような市の広報紙等の活用を含めまして周知する方向で進めていきたいと思っています。

高齢者の免許返納

来海：合志市では、70歳以上の方が今年の3月末で1万445人いて、その中で免許を保有されている方は5,567人で約53.2%です。今、毎日のように高齢者の交通事故が話題になっています。熊本県警によると、2018年の自主返納者は過去最高の5,277人で、5年前の約2.5倍だそうです。今年に入って返納者は、1日平均25人程度だったんですが、4月の東京池袋で87歳の男性の乗用車に親子がはねられ死亡した事故以来、1日30人～40人に急増しているそうです。また、去年県内で起きた人身事故のうち、高齢ドライバーの過失が重い事故は1,114件で、死者全体の4割にあたる24人が死亡されています。うち、アクセルとブレーキの踏み違いが原因の事故は18人で、2人が残念ですがお亡くなりになっているそうです。私が議員だよりを配っていると、「自主返納したら、なんか特権はあるんですか」とよく聞かれます。「免許返納者には身分証明書になる運転経歴証明書と、全県内のバスと市電の半額の免許返納者割引乗車証がいただけます。」というと、「なかなか毎日は鶴屋とかそういうところに行けないんですよね。やっぱり市内の中で買い物とか温泉に行きたい。レターバスや巡回バスを、半額にして欲しい。交通の便が悪いと、返納したいと思っていてもなかなか返納できんとです。」と、言われる方が多いんです。高齢者の方々から、「熊本市はよかよね、さくらパスがあるから！」と、今でも言われる方がいます。ぜひ、県内のバスと市電が半額にあわせて、合志市独自でレターバスや巡回バスを半額にできないかを伺います。

総務部長：県下のバスと市電は、免許返納者割引乗車券を提示すると運賃が半額になるサービスを実施しています。市としても免許返納したあとの高齢者がスムーズにコミュニティバスを利用してもらえるように、昨年度から公共交通協議会にて、運賃半額制度や利用お試し回数券進呈などのサービスを検討していますが、コミュニティバスの利用者状況は大半が高齢者で、そのほとんどの方が免許を持っていません。そのため、元々高齢者の利用割合が高く、免許所有率が低い現状では、免許返納者だけの特典ならば不公平感があるのではとの指摘を受けています。そうしたことから、高齢者は一律半額運賃にするなど公平性が確保できるようなサービスの検討に入っています。現在コミュニティバスの運行経費は年々増加しており、さらなる経費増加は財政的に厳しい状況です。サービス拡大のための新たな負担のあり方も視野に、一部の高齢者だけでなく、高齢者全員が気軽に外出できるような仕組みをつくっていければと考えています。

来海：大体どれぐらいの期間で答えが出るのでしょうか。

技監：コミュニティ交通の役割がますます重要になってきている一方で、竹迫地区の商業施設アンビーのオープンとか、また今後予定されてます御代志駅の周辺開発に伴い、市内の人の動きが大きく変わっていくことが予想されます。こういうのも含めてコミュニティ交通の再構築が必要になってきていると認識しています。公共交通協議会において、昨年度から運行形態やルートの全体的な見直しをやっているところです。先ほど質問がありましたように、基本的には本年度内、運輸局への申請等の手続きも含めて、今年度代にある程度方向性を見出して、できるだけ早く実施していきたいと考えています。

来海：目の前の運賃の経費だけではなく、例えばクラッシーノやアンビーで買い物をしたら、その売上から税金として合志市にお金が入ってきます。特に男性の方が免許返納を躊躇するのは、引きこもりになりやすいということもあるんですね。交通の便があっていろんなところに行ったら、認知症予防とか引きこもり予防にもなりますので、先ほど技監が仰ったようにいろんな問題点がありますけれど、目に見えないそういうようなところも、細かく検討していただければとお願いします。

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38　来海恵子　FAX 096-248-8956
Mail rai-ok@nifty.com　http://raikaikeiko.info/　らいかい恵子　検索